

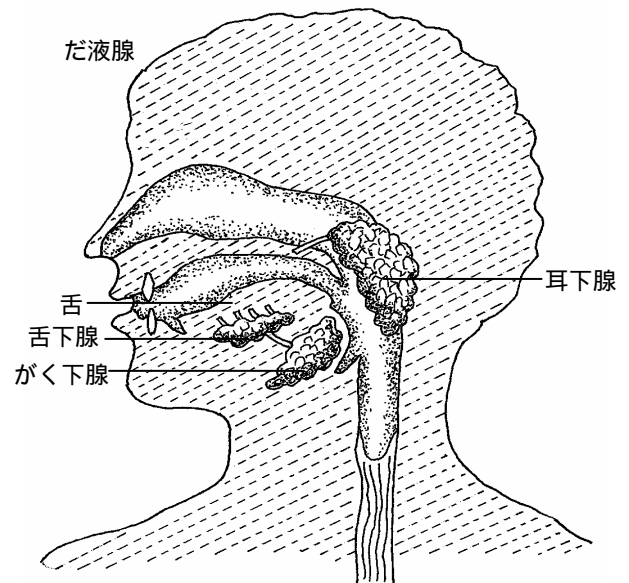
「つば」はどこから出て、どんなはたらきをしているの

「つば」は三つのだ液腺から出ている

わたしたちの口は、食べ物が入ると、消化を助けるために、だ液腺から、どんどんつば（だ液）を出します。つばを出すのは、右の図のように三つのだ液腺です。

だ液の中には、でん粉を消化しやすくするものや、殺菌効果のあるものがふくまれており、体にとって重要な役割をはたしています。また、だ液は、昼も夜もわたしたちが寝ているときにも、いつも口の中に出ています。

ふつう、1日に牛乳パック1本～1本半くらいの量が出ており、赤ちゃんは大人の9倍くらいの量が出ています。



だ液は、体の中でいろいろなはたらきをしている

だ液は、口の中で食べ物と混ぜて、食べ物を飲みこみやすくします。

だ液の中にとけた食べ物の成分は、舌のみぞにしみこみ、味がわかります。

だ液の中の成分は、ご飯やパンのでん粉を、消化しやすいものに変えます。

だ液は、食べたり飲んだりしたものについている、ばい菌を殺すはたらきをします。

だ液は、話をするとき、舌やくちびるが、なめらかに動くようにします。

(監修・保志 宏)

